

# 愛ちゃん

社協だより

NO. 90

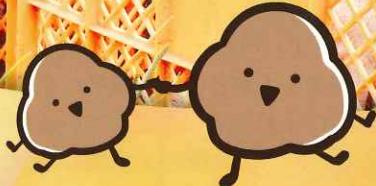
令和5年(2023)10月号

発行 | 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会  
TEL.0267-56-1825 有線4091  
FAX.0267-56-3815

今年も  
アツい!

夏ボラ

2023



小中高校生のボランティア活動の  
きっかけづくりに、毎年「夏ボラ」を  
開催しています。今年度もたくさん  
の児童、生徒のみなさんにご参加  
いただきました。

ボランティア活動を通してどんな  
体験ができたでしょうか？

## 今月の記事

● 夏ボラ2023	2・3
● 地域福祉推進町民大会	4
● ふれ愛園だより	5
● 地域の活動紹介します	6
● ただいまだより	7
● ふれ愛むらについて	8

「愛ちゃん」の発行には  
「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。

# 夏ボラ

ボランティア活動で  
ちょっとイイ夏にしよう!

2023 報告

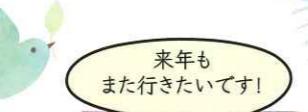
今年は町内にある介護サービス事業所、及び社会福祉協議会主催の活動でボランティアを募集しました。参加希望者は、昨年の倍である70名の方にお申込みいただきました。児童・生徒の皆さんはそれぞれ自分の得意な事や、挑戦してみたい事などを選びボランティアに參加しました。

「夏ボラ」で児童・生徒の皆さんにとって夏休み中のちょっとイイ体験となればと思います。

## 社協 まちの茶の間「ただいま」

一緒にお茶のみしながらおしゃべりや、利用者さんと一緒にお食いご飯の準備をしました。

昨年も参加してとても楽しかったので申込みました。最初は緊張したけど、たくさんお話ししがれてよかったです。



## ハートフルケアたてしな グレープホーム たんらん

お茶入れやお話し相手、家事手伝い、体操やレクリエーションなど様々な活動のお手伝いをしました。

将来の夢は介護士になることなので良い経験ができた良かったです。お話を聞いて楽しかったです。



社会福祉協議会では、児童・生徒の皆さんに呼びかけ、夏休み中のボランティア活動を通して人のために地域のために自分に何ができるか考えるきっかけづくりをしてもらおうと、毎年「夏ボラ」を開催しています。

## ハートフルケアたてしな ほほえみ

夏祭りのお手伝いやお話し相手、おやつ作りなど体験しました。ピアノが得意なボランティアさんがお祭りの中でピアノを演奏し、会場を盛り上げていました。

普段あまり関わりのないおじいさん、おばあさんとたくさんお話しできとても楽しかったです。働いている方とも色々なお話ができた楽しかったです。



ゲームをしている時に一人ひとり応援したときに「ありがとう」と言ってもらうことができて嬉しかったです。

## 社協 国道142号ごみ拾い

29名のボランティアさんにご参加いただきました。その内高校生8名にはボランティアリーダーとして、当日の運営にご協力いただきました。

ごみ拾いをしているうちにきれいになっていく感じがしていい気分だった。参加者の方々と声をかけあいながらでき、充実した時間にすることができました。



## 宅幼老所 茂田井

夏祭りのお手伝いに参加しました。利用者さんに声をかけたり、ゲームしたり、最後は元気よく炭坑節を踊り、利用者さんを楽しませていました。



友だちに誘われて参加した方や、この活動なら自分にもできるかも! とはじめてボランティアに参加してくださった方と参加の理由は様々でしたが、児童・生徒のみなさんが心から楽しんでボランティア活動をしている姿はとてもかっこよく素敵でした。

## 社協 絵手紙をおくろう

絵手紙を町内の一人暮らしの高齢者に向けて制作する活動をしました。昨年も参加してくださったお二人を含め、4名の参加者と町内でボランティア活動をされている方を講師に迎え制作しました。



## たてしなホーム

今回は外作業の利用者さんと交流しながら活動しました。



## 社協 お達者弁当

町内の一人暮らしの高齢者へボランティアさんの手作り弁当をお届けしています。いつもご協力いただいている手のひらの会、食生活改善推進協議会のみなさんとお弁当の準備をし、配達ボランティアさんとも一緒に活動しました。



無料のお弁当を配っているのは知っていましたが、ボランティアさんが作り配達しているのは知りませんでした。地域の方の協力を得て行われている活動ということがわかりました。

ボランティアさんとお話をしながら活動ができるとても楽しかったです。食べてもらう人の事を考えた工夫がしてあります。と思いました。

お弁当を心待ちにしている姿を見て元気をもらいました。心を通わせることができて良かったです。

ボランティアさんの笑顔でのお渡しにパワーをもらいました。

# 地域福祉推進町民大会

「つながり 支えあう 地域づくり」

9月10日(日) 第34回地域福祉推進町民大会が開催されました。

この大会は地域に関わることの大切さや、安心して暮らせる地域社会のあり方を考え、一人ひとりが役割を持つて生き生きと暮らせる地域づくりを推進するため毎年開催しています。



講演会では、元佐久病院副院長北澤彰浩氏を迎えて、「自宅（地域）で生ききり大往生～あなたは最期をどこで迎えますか～」と題してご講演いただきました。

式典では、長年ボランティア活動を続けている農野花グループ様、立科町社会福祉協議会理事を務めた前所正俊様、羽場博直様、土屋春江様への感謝状贈呈式が行われました。



ここで最期を迎える人が意思表示できるようになること、望む場所で最期を迎える旅立てるということは、地域住民全員が自分らしく最期まで生きられる町づくりに繋がるのではないかでしょうか。



在宅医療の最前線で活躍され、医療を通じて地域づくりを行ってきた北澤先生のお話は、会場の皆さんの中に響くものでした。新たな視点で地域づくりを考える有意義な時間となりました。

地域福祉コーディネーター  
内藤 明香

在宅で最後まで過ごすことができるという希望がもてました。家族の気持ちを知るとともに、家族に自分の気持ちを伝えようと思いました。

ご感想をいただきました

当日の様子は  
動画で見られます  
立科町  
社会福祉協議会



QRコード

# たてしなふれ愛園

たてしなふれ愛園

新潟県上越市方面へ日帰り研修旅行に行つてきました。

最初の研修場所の、岩の原葡萄園ではガイドさんの案内を聴きながら沢山の種類のワインを見たり、試飲をしました。ワインの貯蔵をしている雪室内の見学では、保存してある沢山の雪を見ながら、「この寒いなかで、ワインが熟成されるんだね」と皆さん驚かれていました。

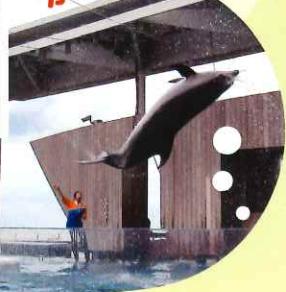
昼食には、地元の新鮮な海の幸をふんだんに使った料理を頂きました。皆さん、美味しそうに召し上がられていました。お腹も満たされた後は、お土産を選びました。何を買って帰ろうかなとウキウキされた表情が印象的でした。



そして皆さんのが最も楽しみにされていた、上越市立水族館うみがたりでは、海の生き物たちを近くで見ながら、可愛いね！と感動していました。イルカショージでは、ジャンプするイルカを見て歓声が上がっていました。県外への研修旅行を、利用者の皆さんは充分に楽しみました。



イルカジャンプ  
かっこいい！！



# 地域の活動紹介します

## ～コロナ禍を乗り越えて～



二ジマスのつかみ取りは大人  
気で、取材に行つた時  
にはすでに終了し、こ  
どもたちが即席生けす  
で水遊びを楽しんでい  
ました。

分館長さんは「どれくら  
いの人があるかもわからな  
かったし、準備の人手もどう  
なるかわからなかつたけど、  
みんながやってくれるもんだ  
ね♪」と云つた。  
台風の予報を吹き飛ばし  
た、老若男女溢れるとっても  
活気のある夏祭りでした。

新型コロナ感染症の脅威  
が地域の地縁活動から作  
られていた住民同士の繋が  
りを細くしてしまいました。  
そんなコロナ禍を乗り越  
えて、今年は「やっぱり何か  
しなきゃいけねえない！」  
と盆踊り大会や夏祭りを  
復活させた地区が多くあ  
りました。

例年より規模を縮小して  
の開催ということでしたが、  
焼き鳥・焼き肉・焼きそば・  
そうめん・そして樽酒…まで  
が振舞われました(豪華！)。



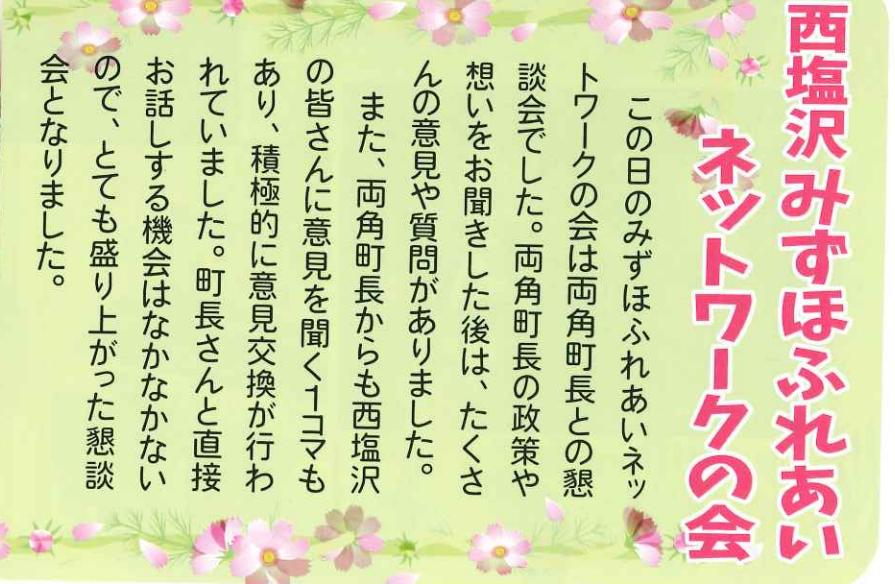
この日のみずほふれあいネット  
ワークの会は両角町長との懇  
談会でした。両角町長の政策や  
想いをお聞きした後は、たくさん  
の意見や質問がありました。  
また、両角町長からも西塩沢  
の皆さんに意見を聞く1コマも  
あり、積極的に意見交換が行わ  
っていました。町長さんと直接  
お話しする機会はなかなかない  
ので、とても盛り上がった懇談  
会となりました。



## 山部夏祭り 繫



## 西塩沢みずほふれあい ネットワークの会





# 『ただいま』に、夏ボラのやつできました

8月4日、7日の両日は猛暑に迫る暑さとなり、自己紹介後さっそく庭の水まきにとりかかっていました。ホースで散水すると、室内がさーっと涼しくなり、「ああ涼しい」「夏はこれが一番」と大歓声が上がりました。

昼食の準備を一緒にしたり、食後は子どもたちが用意してくれた科学なぞなぞゲームを楽しみました。

訪ねて下さった小学生3人、高校生2人の皆さん、ありがとうございました。たくさんの元気をいただきました。来年もお待ちしてますよ。

担当職員 飯塚 千鶴子

「子どもや孫と過ごした頃が戻ってきたようだ」と皆さん目を細めていました。



**善意のご寄付  
ありがとうございます。**

匿名 米(もみ)約270kg分

匿名 2,000円

いただいたご寄付は、地域の福祉の推進に活用させていただきます。

また、ウエスや食品のご寄付は、町内で活用するとともに、近隣の社会福祉協議会を通じて広域で活用させていただきました。ありがとうございます。

ちょっと一息  
頭の体操

## 立科町クイズ

### 第1問

立科町を流れている川の名前はなんでしょう？

- ① 千曲川
- ② 番屋川



芦田川と  
○○川です。

### 第2問

立科産のリンゴが美味しい季節。どちらが早く収穫されるでしょう？

- ① つがる
- ② ふじ



青森産  
由来です。

前回の答え 第1問「②芦田」 第2問「②山部」

官製はがきに ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④クイズの答え

⑤今号の社協だよりのご意見・ご感想をご記入のうえ、立科町社会福祉協議会へお送りください。※当選者の発表は、商品の発送もって代えさせていただきます。

■お問い合わせ 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会  
北佐久郡立科町芦田2523 (TEL)0267-56-1825 (有線)4091

愛ちゃんは  
町のテレワーカーが  
携わっています。

90号より新たに1名の  
ワーカーが加わりました！

よろしく  
お願いします。  
  
山木 聖護

清水 舞、  
鈴木 美保  
田原 千雅、  
土屋 衣里  
檜野 真佐夫  
鉢木 裕見子  
依田 美里

第16回

# たてしなふれ愛むら



10  
28

土



誰もが安心して暮らせる社会を築くためには、違いを認め合い、  
ひとりひとりが尊重され、共に生きる事が大切です。

そこで、様々な違いを超えた、「ふれあい・よりあい・たすけあい」を  
広めるために、「たてしなふれ愛むら」を開催します。

各団体の  
ステージ発表

販売コーナー

展示

福祉  
リサイクルバザー

などを予定!

- ◆新型コロナウイルスの感染状況によって、イベント内容に変更が生じる場合がありますので、ご了承ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮して開催いたしますが、来場される際は、マスクの着用、検温、消毒等にご協力をお願いします。また、当日体調不良の場合は、ご来場をご遠慮下さい。

お問合せ

たてしなふれ愛園  
電話:0267-56-3721  
有線:4321

## 福祉リサイクルバザー 品物提供のお願い

バザーの収益は、住民貸出用福祉車両購入のための資金になります。

期 間／10月21日(土)～10月26日(木)

時 間／9:30～16:30

場 所／老人福祉センター



衣類・くつ・バッグ 各種贈答品

家具・家電製品 日用雑貨・洗剤

おもちゃ・文具 食品(レトルト) など

